

めでたく満100歳

川名 トシさん(安達ヶ原)

松原 チイさん(上葉木坂)

この世に生を受けて一世紀。1月2日に川名トシさん(安達ヶ原)と松原チイさん(上葉木坂)がめでたく満100歳を迎えられ、二本松市からは賀寿、福島県からは賀寿と木杯が贈られました。川名さんの長寿の秘訣は「笑顔を絶やさず、人に優しく接すること」、松原さんの長寿の秘訣は「好き嫌いせず食べること」だそうです。川名さん、松原さんのますますのご長寿をお祈りいたします。



川名さん



松原さん

ざぶん賞2019(第18回)

さいとうあいらり

齋藤藍湮さん(杉田小6年)準ざぶん大賞を受賞

生命の源である水や海のテーマを通じて命や自然の大切さについて考える「ざぶん賞」で、齋藤藍湮さんの身近な生活を題材とした「ゆううつな雨の日」が「準ざぶん大賞」を受賞し、12月13日、市役所を訪れその受賞を報告しました。



上川崎公民館ふれあい学級

しめ縄作りに児童が挑戦!

12月17日、川崎小学校の6年生19人が地域の高齢者からしめ縄作りを学びました。上川崎公民館のふれあい学級が、正月にちなんだ伝統行事に理解を深めてもらおうと毎年開催しています。児童たちはもち米の稲わらをよじり、しめ縄作りに挑戦しました。熟練の技に関心しながらも、名人たちの指導もあり、次第にコツをつかみ、上手にしめ縄を完成させていました。



地域のものを食べる「食育」

地元のレンコンを寄附

11月から12月にかけて、佐藤眞一さん(上太田)からレンコンが寄附されました。いただいたレンコンは東部学校給食センターで、みそ汁等の具材として調理され、受配校の各小中学校・幼稚園に提供されました。

また、新殿小学校では、栄養教諭から食育の一環として、給食の時間に実物のレンコンを見ながら栽培方法や栄養についての話を聞きました。子どもたちは興味を持って話し合いながら、美味しくいただいています。



- 1_佐藤さん(右)から寄附いただいたレンコン
- 2_給食を食べながら、地元のレンコンの話を聞いています(新殿小学校)

大勢の市民が共に新年を迎える 二本松城本丸跡で迎える 初日の出

令和2年元旦、霞ヶ城公園内の二本松城本丸跡には、多くの市民が集まり、東の空から美しい初日を迎えました。当日は天候に恵まれ、多くの人々が新たな気持ちで新年を迎えることができた様子でした。



1_東の空に見える初日
2_二本松城本丸跡は多くの市民で賑わう

令和2年二本松市消防団出初式 今年1年の無火災を願って

1月5日、市消防団出初式が行われました。竹田根崎通りには各地区隊から約930人が集合し、市長、消防団長らによる観閲を受けた後、ラッパ隊の演奏に合わせて式典会場である市民会館まで行進しました。沿道には多くの市民が集まり、団員たちの勇姿を見学していました。

また、式典では三保市長から告辞、菅澤団長から訓示が述べられました。



安心・安全な地域の農産物を市民の台所へ 威勢よく新春初せり

新春恒例の初せりが1月5日、市公設地方卸売市場で開催されました。早朝の厳しい寒さの中、青果店や水産物店の店主ら約40人が集まり、今年1年の繁盛と、より一層の景気回復を祈り手締めが行われました。その後、和歌山県産のみかんや愛媛県産の真鯛がご祝儀相場で競り落とされ、新しい年の初めを景気よく祝いました。



地域おこし協力隊員に委嘱状 二本松ならではの魅力を発信

1月6日、二本松市観光連盟で地域おこし協力隊員として活動する小野寺智行さんに委嘱状が交付されました。小野寺さんは、東京都出身。大学卒業後は埼玉県で生活をしていました。

今後は、ウェブ・SNS等を活用した情報発信や「菊のまち二本松」としてのブランド力強化のためにグッズ開発のサポートを行います。

